

AssistMotion株式会社との連携協定

企業概要

【会社名】

AssistMotion株式会社

【設立】

2017年1月4日

【事業内容】

信州大学において得られた成果を社会貢献につなげるために設立された信州大学発ベンチャー企業。人に優しいウェアラブルロボットと次世代ソフトアクチュエータの研究開発を二つの柱としている。

超高齢社会の進行の中で、ウェアラブルロボット技術を利用して人々の動作をアシストすることは、より一層重要性が増すことが見込まれ、衣服感覚で利用できる人に優しい“着る”ロボットを実現するための技術開発を目指す。

【代表者】

代表取締役 橋本 稔

【所在地】

(本社) 〒386-0017

長野県上田市踏入2丁目16-24

(支社) 〒975-0036

福島県南相馬市原町区萱浜字巢掛場 45-245

南相馬市産業創造センターB-8

【従業員数】

9名

これまでの経緯

【2017年】

1月 AssistMotion株式会社を設立

【2020年】

11月 歩行アシストロボットcurara実証実験@上高地

【2021年】

7月 「Fukushima Tech Create」に採択

11月 新製品「curara (クララ)」を発表



【2022年】

5月 南相馬市産業創造センターに入居

6月 「福島県地域復興実用化促進等補助金」に採択
介護者用腰サポートウェア実証@南相馬市

10月 「curara」ニューモデルを発表

11月 東急電鉄と連携した「curara」実証
@横浜市



12月 「curara」を用いたウォーキング実証
@いわき市



【市内で開催イベントへの参加実績】

2022年 8月 ロボテス見学会2022 in SUMMER

9月 南相馬で見つけよう！

未来を創るパートナーinロボット編

AssistMotion株式会社との連携協定

協定の目的

AssistMotion株式会社の南相馬市内でのウェアラブルロボットの開発や市内事業者を活用したサプライチェーンの構築を促進し、同社及び同社のサプライチェーンに参画する市内事業者の企業価値向上等を図ると同時に、市内介護施設における同社のウェアラブルロボット等の提供を通じて、超高齢化社会の課題解決に寄与することを目的とする。

連携事項

- (1) AssistMotion社のウェアラブルロボットの開発促進に向けた、市内での実証場所の確保に関する事項
- (2) AssistMotion社のウェアラブルロボットやウェアラブルロボットを用いたトレーニングメニューの市内介護施設等への無償提供に関する事項
- (3) AssistMotion社のウェアラブルロボットのサプライチェーンへの市内事業者の参画に関する事項

等

具体的実施内容

- AssistMotion社は、市内介護施設と協力することで、介護者の負担軽減を狙う「腰サポートウェア」及び、要介護者の機能回復訓練に活用可能な「歩行アシストロボット」の市内研究開発を促進する。
- AssistMotion社は、要介護者等の機能回復訓練の効率化のため、市内介護施設に「歩行アシストロボット」を提供するとともに、体操教室や高齢者向けサロン等の市内高齢者向けに市が実施する健康寿命延伸の取組に、「歩行アシストロボット」を活用したトレーニングメニューを提供する。
- AssistMotion社は、「腰サポートウェア」のR7年度実用化に向け、市内事業者を活用したサプライチェーンの構築に努める。また、縫製や樹脂成型等の分野で、市内事業者との連携を図ることにより、販売中の「歩行アシストロボット」のコストダウンにも取り組む。
- 市は、AssistMotion社の開発場所として南相馬市産業創造センターの提供に加え、市内の介護施設をはじめとする実証場所の確保を進める。また、市内事業者による同社のサプライチェーン参画に向けて、同社と市内事業者のマッチングイベントを行う。

AssistMotion株式会社との連携協定

協定日時・場所

【日時】 令和5年2月20日（月）13：00～13：30

【場所】 南相馬市産業創造センター

協定式参加者

市：門馬市長、横田経済部長、岡田健康福祉部長

AssistMotion株式会社：橋本代表取締役

オブザーバー：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
ゆめサポート南相馬

協定式スケジュール

1. 事前面談（13：00～13：15）

場所：南相馬市産業創造センター

オブザーバーを含めた参加者間での紹介・挨拶等。

2. 協定式（13：15～13：45）

場所：南相馬市産業創造センター A棟2階会議室

- (1) 開 式
- (2) 出席者紹介 (3分)
- (3) 協定概要説明 (2分)
- (4) 挨拶 市長、橋本代表取締役 (各3分)
- (5) 協定書署名 (3分)
- (6) 写真撮影 (3分)
- (7) 質疑応答 (5分)
- (8) 閉 式